

詩をメロディーにのせて ふるさとコンサート

第35回甘楽町ふるさとコンサートが2月23日に文化会館で開かれ、童謡作詩コンクールの入賞作品の発表が行われました。町内小中学生を対象とした同コンクールには342点の応募があり、子どもならではの感性や自由な発想力で表現した作品が集まりました。

コンサートでは、かぶらマンドリンクラブ、さくらコーラス、コールオリーブ、グリーンホーンズオーケストラがそれぞれ入選作品に曲をつけて発表したほか、各団体の演奏や合唱も披露され、入選者の吉田 翔さんは「自分の作った詩がすてきなメロディにのり感動しました」と喜びを口にしました。また、ゲスト出演の富岡市民吹奏楽団による演奏も行われました。

入賞作品はこちらから→



入選作品は曲をつけ発表。写真は川嶋さんとさくらコーラス



左から吉田さん、茂原さん、桑原さん、川嶋さん

◎童謡作詩コンクール入賞者(敬称略・学年は令和6年度)

入 選	
森の親子たち	川嶋心葉(小幡小5年)
世界の人にスマイルを	桑原琉華(小幡小5年)
ありがとう	茂原悠真(甘楽中1年)
未来	吉田 翔(甘楽中1年)
佳 作	
くものカタチ	森田のの(小幡小2年)
大きくなったら…	山田朱璃(小幡小5年)
明日は天気になれ	松井夏々帆(新屋小6年)
三ツ顔	宮寺心海(新屋小5年)
キッチンのお楽しみ会	神戸望来(新屋小6年)
歩む道	飯塚旺亮(甘楽中1年)
茶の家族	森田なの(甘楽中1年)
シャボン玉	大河原結衣(甘楽中1年)
甘楽の自然	谷川絢香(甘楽中1年)
つばめ	堀込岳琉(甘楽中1年)

健やかな成長を 家庭の日推進大会

第18回かんら家庭の日推進大会(町青少年育成推進員連絡協議会・町教育委員会主催)が3月2日、文化会館で開かれました。

大会は、生活の基盤で家族の心のよりどころでもある「家庭」の役割を改めて考え、家庭の大切さや家庭の役割のすばらしさに気づき、青少年が自身の行動に責任と社会の一員としての自覚を深めてもらおうと毎年実施しています。

当日は、町内小中学生を対象とした「家庭の日」「少年の日」の標語や作文など各種コンクールの表彰式が行われ、アトラクションとして甘楽中学校吹奏楽部の演奏が披露されました。

入賞作品はこちらから→



「少年の日」標語



「家庭の日」作文



「家庭の日」標語

◀各部門の最優秀賞の皆さん

絆はいつまでも 新たな旅立ち

甘楽中学校第9期生109人の卒業式が3月13日に同校体育館で行われました。卒業生代表による心に響く答辞や旅立ちを彩る卒業生全員での合唱が行われると、会場内は涙に包まれました。

式後には、先生や友人に寄せ書きをもらったり、写真を撮ったりする姿があちらこちらで見られ、『最後の時』を惜しんでいました。思い出が詰まった校舎に思い思いの形で別れを告げた卒業生は、新たな決意とともにそれぞれの新しい世界へ歩み出しました。



▲たくさんの笑顔とともに



▶「高校へ行っても頑張るぞ！」



▲PTAが作成した幕の前で記念撮影



▲苦楽を共にした仲間とともに



卒業記念合唱曲『群青』

キッチンカーで食事を提供 子ども食堂

放課後等デイサービス「カラフルかんら」(福島)を運営する株式会社ソレイユ(安中市)が笹森稻荷神社境内で3月6日、キッチンカーを利用した子ども食堂「カラフルキッチン」を試験的に開催しました。

この日は2台のキッチンカーから「ホルモン焼きそば」と「ベビーカステラ」が振る舞われると、子どもたちを中心に多くの人が食事を楽しみながら交流していました。

4月からは月1回程度の子ども食堂開催を予定し、事前予約をした人を対象に中学生以下は無料(高校生以上は1食300円)で食事が提供されます。

同社の山崎恵里さん(天引出身)は「子どもたちが楽しんでくれることが一番大事。単なる孤食や貧困対策ということではなく、多世代交流の場として地域を盛り上げる活動をしていきたい」と事業継続の意義を語りました。



◀みんなで食事を満喫

▲温かい食事の提供

空手道で国際大会に出場 林さん

4月に中国・河南省で行われる第12回東アジア空手道選手権大会の女子個人組手(14~15歳の部)に出場する林 心優さん(訪問時、甘楽中2年)が3月11日、森平町長らに大会出場の報告をするため役場を訪れました。

林さんは、昨年3月開催の全国中学生空手道選抜大会で5位に入賞した結果などから選考されました。昨年、妹の愛莉さんが世界一に輝き「次は自分の番」と話す林さんは「初めて国際大会に出場するので楽しみな部分が大きいです。得意な足技を生かして優勝を目指します」と意気込みを語りました。

森平町長は「町からまた一人日本代表が出てうれしい限りです。大会を楽しんできてほしい」とエールを送りました。



町長の激励を受け活躍を誓う林さん(右)

群馬ジュニア ハンドボールクラブ 男子、女子ダブル優勝!

第9回群馬県小学生ハンドボール新人大会が2月23日に妙義総合体育館(富岡市)で開かれました。

町内の小学生が多数所属する群馬ジュニアハンドボールクラブ(齋藤英邦監督・茂木敏裕副代表)の男子が5年ぶり5回目、女子が2年ぶり5回目の優勝を果たしました。



男子チーム



女子チーム

ハイトーンボイスで魅了 堀越さん

堀越次郎さん(金井)が群馬テレビの「カラオケチャンネル」で3週勝ち抜きグランドチャンピオン大会(3月21日放送)に出場しました。

堀越さんは若い頃から歌が好きで、数年前に初めて出場したカラオケ大会で優勝し、同番組や県内外のカラオケ大会などに出演。現在はスマートフォンなどでカラオケが楽しめるアプリを使い毎日ライブ配信を行うなど、全国に堀越さんのファンがいます。50代の頃にガンを患った経験のある堀越さんはファンから人生相談を受けることも。そんな時は「歌えば嫌なことも忘れる、前だけを見て」と励ますといいます。

堀越さんは「歌に勇気をもって闘病にも耐えられました。歌は健康にも良いので、みんなにも歌って幸せになってもらいたい」と話しました。



「演歌、フォーク、歌謡曲まで何でも得意」と話す堀越さん

▲スマホアプリを使い熱唱する堀越さん。SNSで「鮎シロー」として発信しています。

法務大臣から感謝状 安藤さん

令和6年9月に保護司を退任された安藤幸隆さん(秋畑)に法務大臣から感謝状が贈られました。

安藤さんは保護司として、犯罪を犯した人々の更生を支援し社会復帰を促すために面談を行うなど、安全安心な地域社会のために尽力されました。

平成18年から18年間にわたり保護司を務めた安藤さんは「今は肩の荷がおりほっとしています。大変なことも多くありましたが、支援した人が立派に働き会いに来てくれた時はうれしかったですね」と活動を振り返りました。



春の訪れとともに 観光キャンペーンはじまる

国指定名勝 楽山園の「春の茶会」が3月16日、園内の凌雲亭で先着150人限定で開かれました。

茶道裏千家篠原社中の皆さんがお茶をたて、茶席での出会いは一度限りと考え、心を尽くしてもてなすという『一期一会』の心得が紹介されると、参加者は感銘を受けながらお茶を楽しみました。



また、旧甘楽第二中学校校舎をメイン会場に「甘楽の雛祭り」が始まり、4月13日まで展示されています。約2,000体のお雛様が町内5カ所に飾られ、その数の多さに訪れた人は感動するとともに時代によって異なる段飾りの内容や人形の顔を見比べていました。

巖かに練り歩く 笹森稻荷神社 春季例大祭

笹森稻荷神社の春季例大祭が3月8・9日に行われました。

8日には稚児行列や屋台などがお囃子はやしの音とともに福島地区を練り歩き、多くの方が写真に収めていました。9日には露店市が開催されるなど大勢の参拝客でにぎわいました。



境内で奉納される笹森稻荷神社浦安の舞
◀4月に小学校入学を迎える子どもたちによる稚児行列